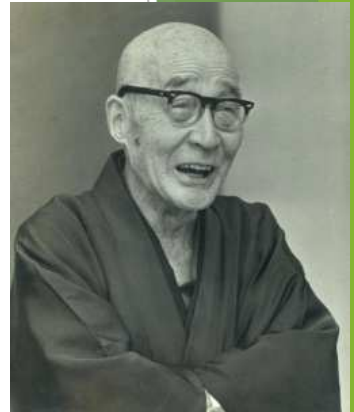


# 第67期(令和4年[2022年]度) 事業報告書

令和5年6月17日 定時評議員会資料

## 設立理念

「感謝の心と相互敬愛を表す合掌の生活の中でご利用者一人ひとりが、自らの長寿生活を楽しみながら暮らすための環境づくりをモットーとします。」



嵐山寮創始者  
大僧正 亀山弘應 猊下  
(1892～1976年)

明治25(1892)年1月10日生まれ。広島県出身。

大正9(1920)年ハワイ開教監督、昭和6(1931)年朝鮮開教監督となる。

昭和21(1946)年高野山真言宗初代宗会議長。

昭和47(1972)年には高野山金剛峯寺座主、同宗管長に就任する。

昭和51(1976)年2月3日死去。84歳。

嵐山寮のモットーのルーツは、終戦間もない1949年にさかのぼります。当時、まちに大勢おられた戦災老人の救済が大きな課題となっていました。

そこで高野山真言宗金剛峯寺の管長だった亀山弘應猊下が共同で、養老施設「寿楽園」を開設。そして戦災老人の増加にともない、1955年、嵐山に「寿楽園 嵐山寮」として施設を拡大。その後、社会福祉法人として新たなスタートをきりました。

開設当時、誰もが生活に困窮する中、活動をつづけられたのは地域の支えがあったからです。

2015年、嵐山寮は60周年を迎えました。開設当初から変わらない地域への感謝の気持ちと、「社会福祉は地域と共生すべき」という想いを大切に、今も「地域貢献・活性化」に取り組んでいます。

■ポイント■ 嵐山寮という舞台での主役はご利用者本人と考えています。私たち職員は、ご利用者の独自性や個性、これまでの生活様式を活かしながら長寿生活を支える裏方でありたいと願っています。

# 法人沿革

昭和30年04月01日	養老施設壽楽園南寮として開設(定員30名)
昭和31年04月01日	養老施設増築(定員60名)
昭和34年04月01日	養老施設増築(定員75名)
昭和37年04月17日	常陸宮殿下御来臨
昭和37年04月18日	社会福祉法人嵐山寮の法人許可
昭和41年04月01日	養護老人ホーム増改築(定員100名)
昭和46年04月01日	養護老人ホーム増改築(定員120名)
昭和60年04月01日	特別養護老人ホームを併設(定員50名) 養護老人ホームを縮小(定員75名)
平成04年04月01日	デイサービスB型を開設(定員15名)
平成07年07月01日	京都市在宅介護支援センターを開設
平成09年04月01日	デイサービスB型 定員増加(定員21名)
平成09年06月01日	デイサービスE型を開設(定員8名)
平成10年10月01日	ホームヘルプサービスを開設
平成12年04月01日	介護保険法による事業者指定を受ける 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 定員50名、短期入所生活介護(シートステイ) 定員5名 通所介護(デイサービス) 併設型定員30名、認知症型10名、訪問介護(ホームヘルプサービス)、居宅介護支援
平成15年04月01日	支援費制度による事業所指定を受ける ホームヘルプサービス
平成18年04月01日	介護保険法による介護予防サービスの事業所指定を受ける 介護予防短期入所生活介護 介護予防通所介護 介護予防訪問介護 介護保険法による地域密着型サービスの事業所指定を受ける (介護予防)認知症対応型通所介護 京都市嵐山地域包括支援センター開設(京都市委託)
平成18年10月01日	介護保険法による特定施設入居者生活介護事業の事業指定を受ける 特定施設入居者生活介護(養護老人ホーム)
平成18年12月04日	(介護予防)通所介護定員5名増加(併設型定員35名)
平成19年01月09日	特別養護老人ホーム2階 ユニットケア改修工事
平成20年02月01日	特別養護老人ホーム3階 ユニットケア改修工事
平成21年03月26日	(介護予防)短期入所生活介護定員1名増加(定員6名)
平成22年05月01日	(介護予防)小規模多機能型居宅介護(さかの)を開設 登録20名 通い12名 宿泊5名
平成22年12月15日	(介護予防)小規模多機能型居宅介護(さかの)定員増 登録25名 通い15名 宿泊5名
平成23年11月16日	嵐山寮特別養護老人ホームひろさわ開設(定員29名) 嵐山寮短期入所生活介護事業ひろさわ開設(定員10名) 嵐山寮小規模多機能施設ひろさわ開設(登録20名 通い12名 宿泊5名)
平成23年12月21日	嵐山寮特別養護老人ホームうたの開設(定員110名) 嵐山寮短期入所生活介護事業うたの開設(定員10名) 嵐山寮居宅介護支援事業うたの開設 社会福祉法人嵐山寮うたの診療所開設
平成23年12月27日	サービス付き高齢者向け住宅広沢ヒルズ開設(定員8名)
平成24年01月01日	特別養護老人ホーム嵐山寮定員縮小(定員30名) 嵐山寮短期入所生活介護事業定員増加(定員14名)
平成24年12月10日	嵐山寮小規模多機能施設ひろさわ登録定員増加(登録20名→25名 通い12名→15名 宿泊5名)
平成26年05月01日	嵐山寮小規模多機能施設さかの定員増加(登録25名 通い15名 宿泊5名→7名)
平成26年07月01日	嵐山寮居宅介護支援事業所ひろさわ開設
平成27年04月18日	法人創立60周年記念式典開催 記念誌発行
平成27年07月01日	嵐山寮小規模多機能施設ひろさわ定員増加(登録25名→29名、通い15名、宿泊5名→7名)
平成27年09月01日	嵐山寮小規模多機能施設ひろさわ定員増加(登録29名、通い15→18名、宿泊7名)
平成27年10月01日	嵐山寮小規模多機能施設さかの定員増加(登録25名→29名 通い15名→18名 宿泊7名)
平成28年03月02日	嵐山寮サロン「カフェくるまみち」開設
平成29年01月30日	介護職員初任者研修事業開始
平成29年03月31日	認知症対応型通所介護事業廃止
平成29年04月01日	京都市介護予防・日常生活支援総合事業(短期集中運動型デイサービス、生活支援型・支え合い型ホームヘルプサービス)指定を受ける 障害者支援法による計画相談支援事業所指定 児童福祉法による障害児計画相談支援事業指定
平成30年03月31日	京都市介護予防・日常生活支援総合事業(介護予防型デイサービス、介護型ヘルプサービス)指定を受ける。
令和元年03月31日	短期集中運動型デイサービス廃止
令和元年11月30日	計画相談支援事業所・障害児計画相談支援事業廃止
令和4年10月25日	収益事業追加(隣接土地取得に係る当面の駐車場経営のため)

# 各拠点 所在地

(法人本部)〒616-8374 京都市右京区嵯峨天竜寺北造路町17



嵐山	京福電鉄 嵐山駅下車 徒歩3分	JR嵯峨嵐山駅より、南へ徒歩8分
嵯峨野	京福電鉄 有栖川駅より北へ徒歩5分	
広沢	京福電鉄 車折神社駅より、北へ徒歩10分	JR嵯峨嵐山駅より、東へ徒歩15分
宇多野	京福電鉄 北野線鳴滝駅より徒歩7分	

## ☆建物概要

### 【嵐山拠点】

養護棟(本館)	鉄筋コンクリート2階建	1,453.73㎡
養護別館(デイ棟2階)	鉄筋コンクリート2階建の2階	196.2㎡
特養棟	鉄筋コンクリート3階建の2階	1,560.78㎡
デイサービスセンター棟	鉄筋コンクリート2階建の1階	363.88㎡
ホームヘルプサービス棟	木造スレート葺2階建	46.36㎡
居宅介護支援事業所棟	木造スレート葺2階建	119.88㎡
合計		3,740.83㎡

養護棟本館は昭和46年以降、50年以上経過している

### 【広沢拠点】

嵐山寮小規模多機能施設ひろさわ	鉄骨造4階建の1階	473.31㎡
嵐山寮居宅介護支援事業所		
サービス付き高齢者向け住宅広沢ヒルズ	鉄骨造4階建の2階	473.24㎡
嵐山寮特別養護老人ホームひろさわ	鉄骨造4階建の3階	740.42㎡
嵐山寮特別養護老人ホームひろさわ	鉄骨造4階建の4階	740.42㎡
嵐山寮短期入所生活介護事業ひろさわ		
合計		2427.39㎡

1階に小規模多機能型居宅介護事業所、2階に居宅介護支援事業所&サービス付き高齢者向け住宅、3・4階に特別養護老人ホーム

### 【嵯峨野拠点】

嵐山寮小規模多機能施設さがの	鉄筋コンクリート4階建の1階	191.77㎡
京都市嵐山地域包括支援センター	鉄筋コンクリート4階建の1階	15.91㎡
合計		207.68㎡

マンション1階部分での運営

### 【宇多野拠点】

嵐山寮特別養護老人ホームうたの	鉄筋コンクリート4階建の1階 (南ウイング1階・北ウイングB2階)	1,722.22㎡
嵐山寮特別養護老人ホームうたの 嵐山寮うたの居宅介護支援事業所	鉄筋コンクリート4階建の2階 (南ウイング2階・北ウイングB1階)	1,684.94㎡
嵐山寮特別養護老人ホームうたの 社会福祉法人嵐山寮うたの診療所	鉄筋コンクリート4階建の3階 (北ウイング1階)	799.15㎡
嵐山寮特別養護老人ホームうたの	鉄筋コンクリート4階建の4階	792.59㎡
合計		4998.9㎡

法人内最大の面積をもつ、広域型特別養護老人ホーム



# 事業内容・定員・役員等・職員

## 【嵐山拠点】

- ・養護老人ホーム(75名)
- ・特別養護老人ホーム嵐山寮(30名)
- ・嵐山寮短期入所生活介護事業(14名)
- ・嵐山寮デイサービスセンター(35名)
- ・嵐山寮ホームヘルプサービス
- ・嵐山寮居宅介護支援事業所

## 【嵯峨野拠点】

- ・京都市嵐山地域包括支援センター(京都市委託)
- ・嵐山寮小規模多機能施設さかの(登録29名、通い18名、宿泊7名)

## 【広沢拠点】

- ・嵐山寮特別養護老人ホームひろさわ(定員29名)
- ・嵐山寮短期入所生活介護事業ひろさわ(定員10名)
- ・嵐山寮小規模多機能施設ひろさわ(登録29名 通い18名 宿泊7名)
- ・嵐山寮居宅介護支援事業所ひろさわ
- ・サービス付き高齢者向け住宅広沢ヒルズ(定員8名)

## 【宇多野拠点】

- ・嵐山寮特別養護老人ホームうたの(定員110名)
- ・嵐山寮短期入所生活介護事業うたの(定員10名)
- ・嵐山寮居宅介護支援事業所うたの
- ・社会福祉法人嵐山寮うたの診療所

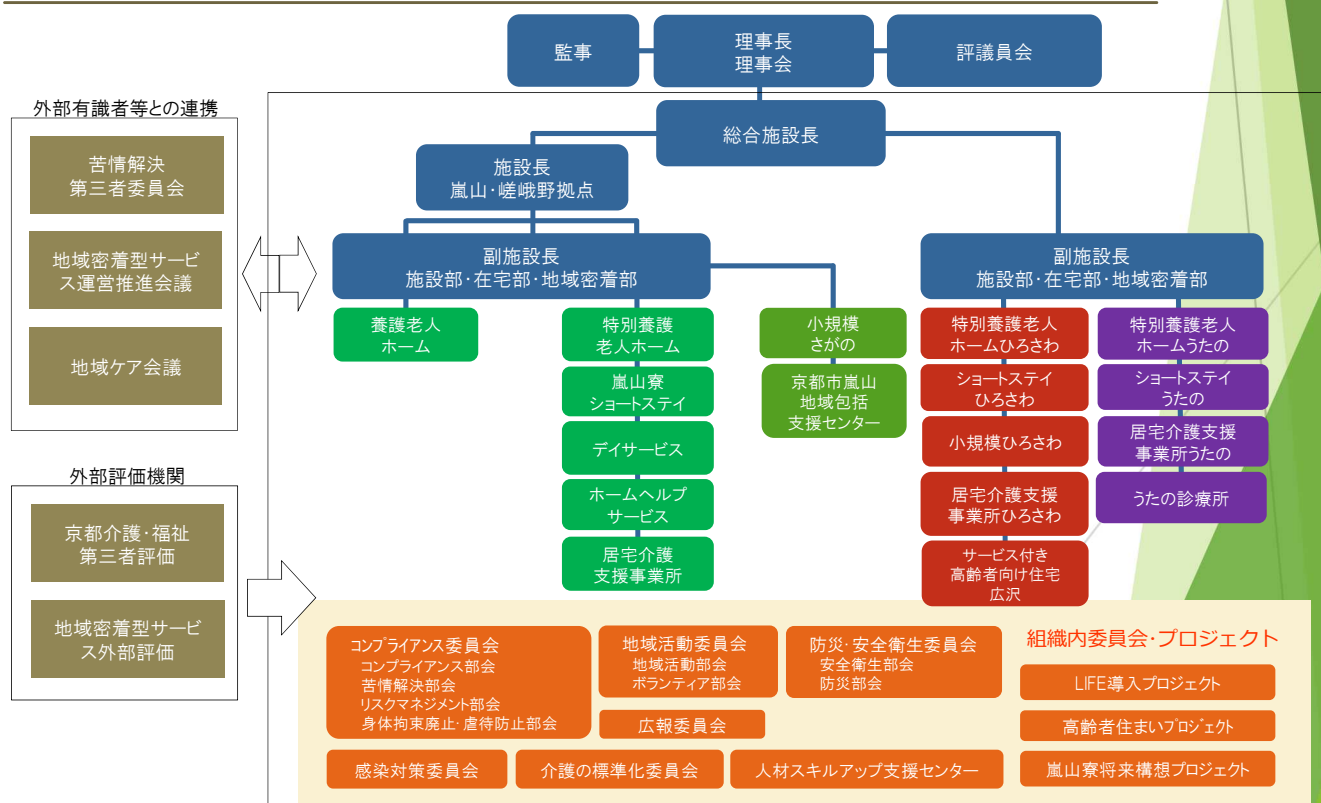
## 《役員》

理事長:寺本 演夫  
理事:6名 監事:2名  
評議員:7名(令和5年4月1日現在)

## 《職員》

総合施設長:田中 裕介  
(広沢拠点)施設長:木村 悦子  
(宇多野拠点)施設長:吉永 光博  
職員数:343名(令和5年4月1日現在)

## 令和4年度 組織図



# 理事長メッセージ



理事長 寺本 演夫

## 戦後の日本を築き上げた先輩方 一人ひとりの気持ちに寄り添う介護を

京都は戦争で焼け野原にならなかった数少ない都市です。しかし、京都をはじめとする戦後の日本は、実際の景色だけでなく、人々の気持ちにおいても焼け野原の状態でした。終戦当時は、戦地から生きて帰ったものの、家族や家を失い、仕事もないという方が大勢いらっしゃいました。

私たちのサービスのご利用者は、そんな状況でも希望を持って懸命に働き、現在の繁栄を築いた先輩方です。そんな方々の多くが今、介護を必要とされています。このような時代の要請に応えるため、私たちは一人ひとりの気持ちに寄り添い、前向きに人生を歩むためのサポートを実践しています。そして、人間の尊厳を大切に、すべての人が幸せに生活できる社会を、地域と共につくり上げたいと考えています。

嵐山寮では、この想いと取り組みに共感し、力を発揮してくれる仲間を求めています。嵐山寮と一緒に、心豊かな施設～地域をつくっていきましょう。

## 中期ビジョン

### 1、法令遵守の視点

令和3年4月社会福祉法改正。

子どもの育児と親の介護を同時に抱えるダブルケア等の深刻な課題を抱える家族に寄り添い、孤立を防ぎ包括的に支援するための相談体制の充実。法令遵守の域に留まらず、倫理観・社会秩序等の社会的な規範を守り、公正公平な法人運営を行う。

### 2、顧客の視点

求められる良質のサービスを常に追求する。

真にご利用者の立場になる ・個別満足度を意識した取り組み。

### 3、財務の視点

積極的な加算取得を維持しつつ、内容・単価・効果性を見極める。

介護保険収入を前年度比110%、経常増減差額比率プラス10%、人件費比率65%以内を目標とする。

### 4、業績の視点

2025年度にむかえる創立70周年記念事業として、嵐山拠点の改修工事を現地で具体的に進める。

民間性を生かした地域における社会問題・ニーズを把握し、建設内容・地域活動や事業内容に反映する。

### 5、人材育成、確保の視点

高い専門性の構築(コミュニケーション能力・介護技術・マネジメント能力・人間性・社会性の向上)。

教育体制の充実。自主的な人材確保の取り組み(雇用管理の改善・意識改革)。

長く継続して働ける法人を目指す(温かさや厳しさの両面からの指導・援助)

検討・意見交換・報告連絡相談の優れた組織化・働き甲斐を強く体感できる組織

### 6、社会福祉法人としての視点

社会福祉事業の本質的な目的を追求し、経営目的と一致させ組織全体に浸透させる形態を両立する。

地域と共存して孤立・生活困難・貧困・不安という生活課題に働きかけ、地域共生社会を先取りする。

## 長期ビジョン

---

### 1、高齢化率32%の視点(約3人に1人が高齢者となる時代)

高齢者の居住施設・在宅サービスの充実  
高齢者や育児で離職した者の再雇用促進  
高齢者介護に携わる家族への支援

### 2、医療や教育をリードする視点

医療法人との連携強化  
大学・専門学校等教育機関等との協定を結び、人材確保・定着・育成を充実

### 3、高齢者福祉を極め、地域にこだわる視点

地域貢献をより進めて、介護・相談・地域の中心的拠点となる。  
社会福祉のほかの種別との連携を強めて右京区での高齢者福祉のけん引法人となる。

### 4、サービスの質にこだわる視点

2030年の後期高齢者数は、2015年と比べて40%増加。  
自ずから介護の必要な方が増え、独居者の増加・地域コミュニティの強化が必要となっていく中、入所施設としての役割と住民が交流し支え合える地域づくりを並行して行う。

## 令和4年度 年間テーマ

---

一人一人がご利用者を最優先に考え、  
ご家族・地域住民の思い、立場も尊重して実践します  
～感染症対策・リスク管理など安全を造り出し、  
安心して生活できる嵐山寮にします～

## 新型コロナ感染拡大(クラスター)への対応

京都府新型コロナウイルス感染症施設内感染サポートチーム及び京都市高齢者施設等新型コロナ医療コーディネートチーム(右京医師会)にもご協力いただき、施設内感染拡大を最小限におさえることができました。陽性者や濃厚接触者に対応した職員については、特殊勤務手当を支給。他の関連経費含め、かかり増し経費として京都市へ補助金申請しました。

## 新型コロナ対応緩和に向けた感染対策の在り方の検討と模索

感染状況を見ながら実習受け入れや家族会喫茶等、最大限の感染対策とコロナ禍前の日常に向けて一部施設内行事を再開しました。

## 嵐山拠点建替えに向けた土地取得&プロジェクト継続中

建替えプロジェクトは5つのチームに分かれて定期的に会議を開催。

## Instagram(SNS)の活用本格化

利用希望事業所のアカウント整備と写真撮影(素材)の重点化を実施。

## 副業兼業含めた多様な働き方への対応と定着化への取組強化

副業希望者への対応と専門職としての研修だけでなく、社会保険やNISA等生活に関わるセミナーを職員向けに開催。今後も継続して実施予定。

## テレワークやZoom等対応ネットワーク環境の強化と電子化促進

新型コロナ感染等により出勤困難な場合に、自宅から可能な限りのテレワーク対応可能なネットワーク環境の強化と会議等のペーパーレス化をセキュリティ確保のためノートパソコンの整備実施。



## 嵐山拠点①

## 「隣接土地取得」

かねてより南玄関通路は幅員が非常に狭いため、建替え工事時における大型工事車両の進入路確保が大きな課題となっていました。そこで、昨年7月より土地の所有者様や不動産業者と慎重に幾度と交渉を重ね、法人役員の皆様などとも相談しながら、課題解消に向け進めてきました。11月1日に売買が成立し、嵐山寮が土地の所有者となりました。

土地の取得により建替え後の新規施設の建築可能面積も拡大するため、今後、「嵐山寮建て替えプロジェクト」において具体的な活用方法や全体図面の再検討などを進める予定です。

なお、現在当該土地は月極駐車場として近隣住民の皆様へ貸出しされておりますので、当面の間は、現行通り月極駐車場として運用します。

所在地	面積
京都市右京区嵯峨天龍寺北造路町12番1	104.95㎡
京都市右京区嵯峨天龍寺北造路町18番7	39.60㎡
合計	144.55㎡ (約43.73坪)





## 嵐山拠点②

### 【養護老人ホーム】

4～5月、7～8月と合計約2か月間、ご利用者や職員においてクラスターが発生。期間中はご利用者には居室内で過ごしていただくこととなり、不自由な生活環境となりました。

終息後は、毎日のラジオ体操や各種レクリエーションを実施。まだまだ外出に制限があり、落ち着いた生活のありがたさを感じながら今までできなかった行事も積極的に行えた時期でもありました。



### 【特別養護老人ホーム嵐山寮・短期入所生活介護事業】

8月に新型コロナウイルスにご利用者・職員ともに複数感染し、不自由な生活環境になりました。終息後は日常生活を取り戻していき、何気ない生活のありがたみを改めて感じました。



## 【特別養護老人ホーム嵐山寮・短期入所生活介護事業】

コロナ感染が若干落ち着いたスキをぬって、クリスマスレクを行いました。食事はオードブル形式で自由に選べるようスーパーで色とりどりの食材を買い、職員はサンタやトナカイに扮して雰囲気盛り上げました。ほんのひと時楽しい時間になったと思います。



## 【デイサービスセンター】

コロナ感染症による休止期間がありましたが、2月からは個別機能訓練を再開することもできて、ご利用者に喜んでいただいております。7月より在宅部門にて毎月定期的なミーティングを開催して、お互いが協力しながら、情報の共有化などが図れるようにしていました。その中で、12月に在宅部門で地域住民の方向けの座談会を開催し、職員との交流、参加された方からは貴重なご意見などをいただくことができました。2月には介護予防体操を企画開催しています。





## 【ホームヘルプサービス】

コロナ感染対策を行いながら、途切れないサービスを心掛けて、援助を行いました。7月より在宅部門にて毎月定期的なミーティングを開催して、お互いが協力しながら、情報の共有化などが図っております。その中で12月に在宅部門で地域住民の方向けの座談会を開催し、職員との交流、参加された方からは貴重なご意見などをいただくことができました。

## 【居宅介護支援事業所】

訪問時はコロナ感染予防を図りながら、業務を継続しています。7月より在宅部門にて毎月定期的なミーティングを開催して、お互いが協力しながら、情報の共有化などが図れるようにしていました。その中で、12月に在宅部門で地域住民の方向けの座談会を開催し、職員との交流、参加された方からは貴重なご意見などをいただくことができました。



## 嵯峨野拠点①

### 【小規模多機能施設さかの】

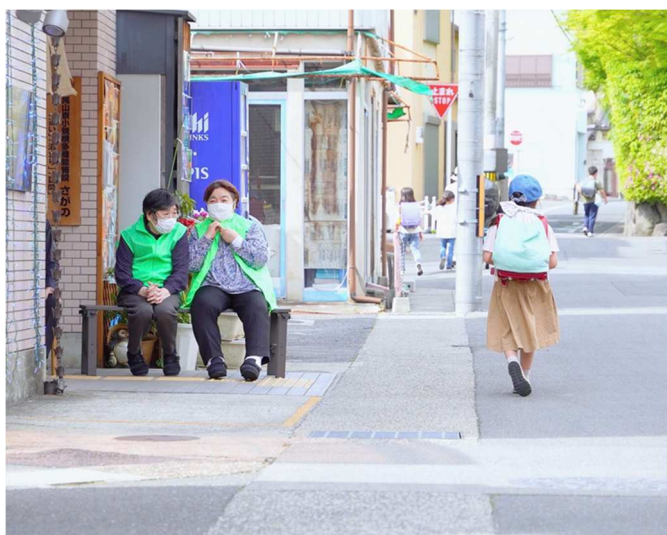
#### 「個別外出支援」

コロナ禍であっても紅葉や桜の時期や、地域の催しが開催される時に外出支援を実施。密を避けた場所や時間帯を入念に下見を行い安全に実施しました。



#### 「こども見守り隊」

コロナ禍でも継続している地域活動。マスク着用、ソーシャルディスタンスを保ち、下校時の子どもたちの安全をご利用者が主体となり、見守りいただいております。





## 嵯峨野拠点②

### 【小規模多機能施設さかの】

#### 「SNSによる情報発信」

6月よりインスタグラムを開始。日常活動・福祉の仕事・地域の魅力を発信中。フォロワーも年度末には2,400名を超え、観光業、各種団体、地域の方がとの繋がりが密になった。動画配信も行い、遠方のご家族や地域住民からもフォローや好評の声を頂いています。

← arashiyamaryo\_sagano2 ...



837 投稿  
2,661 フォロワー  
1,488 フォロー中

#### 嵐山寮小規模多機能施設さかの

介護業者

- ▶社会福祉法人 嵐山寮
- ▶日常活動・福祉の仕事・地域の魅力発信
- ▶Instagram：2022.6～

京都嵐山の高齢者福祉施設です。小規模多機能として『通い』『訪問』『宿泊』を一体的に提供させて頂いております。皆様のお役に立つ情報をお届けできれば幸いです。

[www.arashiyamaryo.or.jp](http://www.arashiyamaryo.or.jp)



地域清掃活動



こども見守…



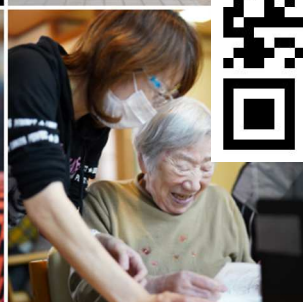
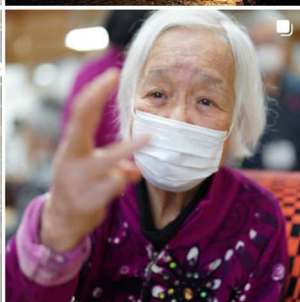
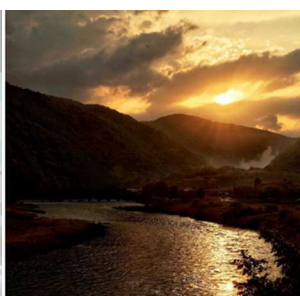
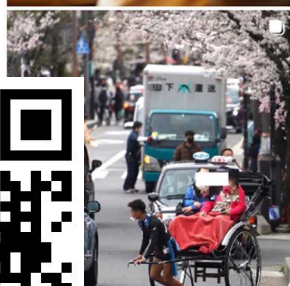
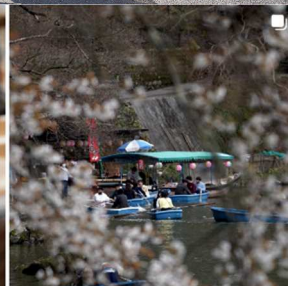
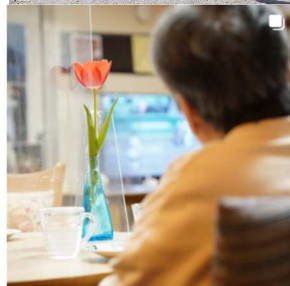
地域のご紹介



嵐山寮



スタ





## 嵯峨野拠点③

### 【高齢サポート・嵐山（京都市嵐山地域包括支援センター）】

4月以降はコロナ感染者が落ち着いてきたため、地域ケア会議は参集で後見制度など権利擁護に関する事例検討を行いました。また、圏域合同地域ケア会議では災害をテーマに取り組んでいます。その他、地域カフェ（現在はテイクアウト）、児童館での認知症サポーター養成講座やスーパー店頭で啓発活動等を実施しています。

“コロナ禍でも楽しもう”をスローガンとして1年間活動をしてきました。年に2回開催（10月、3月）しているクイズラリーは3年目を迎え、各回60名程度ご参加いただいております。認知症啓発や消費者被害啓発活動では大屋嵯峨野店グッズを配布し呼びかけました。また、地域ケア会議では『災害（感染症含む）に強いまちづくり』をテーマに右京医師会や右京消防から講師をお招きし、医療介護・地域との連携について学習しました。

arashiyama\_ho ▾



123 投稿  
723 フォロワー  
717 フォロー中

京都市嵐山地域包括支援センター  
コミュニティ  
高齢サポート嵐山  
京都市の嵐山学区と嵯峨野学区を担当しています。  
🌐 [www.facebook.com/koureiarashiyama](http://www.facebook.com/koureiarashiyama)

プロフェッショナルダッシュボード  
過去30日間に193件のアカウントにリーチしました。

プロフィールを編集    プロフィールをシェ...



❤️ 👁 🗑 📌  
いいね! :  
arashiyamaryo\_sagano2、他71人  
arashiyama\_ho 京都橋大学看護学生です!  
今日は大屋嵯峨野店で消費者被害啓発に参加させて頂きました。

## 広沢拠点①

### 「横断幕」

丸太町通りに面してはいるものの、奥行きのある建物であり一見ただけでは嵐山寮ひろさわが判り難い状況であったため、施設で開催する喫茶やイベントに多くの方に参加していただきたいとの思いから、施設の認知度をあげるため横断幕を設置することになりました。京都市の設置条件を満たすため、デザイン・色・大きさ・設置場所に苦慮しながら12月に設置完了。



### 「そわかキッチン」

各ユニットの調理をひろさわ内5か所のキッチンでおこなっていましたが、ユニット毎で仕上がりや調理時間に差ができていたため、食事の提供方法を見直すことでムリ・ムダ・ムラを無くし、質の向上を目指すことを目的に一括調理化するため『ひろさわ食事改革』が令和4年4月から始まり、今年2月に工事が完了した。





## 広沢拠点②

### 【特別養護老人ホームひろさわ・短期入所生活介護事業ひろさわ】

#### 「コロナ禍での実習生の受け入れ」

毎年4～6名の実習学生を受け入れてきましたが、コロナ禍では学校と相談の上、事前オリエンテーションで学生へ感染予防の知識・法人内のルールを説明。職員と同様の感染予防・健康管理を実施し実習を行っている。出来るだけ、ご利用者との交流を持ち、学ぶ機会を設ける事で将来の福祉に係る人材の育成を図っています。



### 【小規模多機能施設ひろさわ】

#### 「コロナ禍でも継続したサービス提供と楽しんでいただける環境」

通い・訪問・宿泊サービスを組み合わせ提供することでご利用者、ご家族が少しでも住み慣れた地域・在宅で生活できるように支援を行っています。感染されてもできる限り訪問サービスを行いました。また、感染予防のもと楽しんで頂けるレクリエーション（土いじり、色塗り、クイズ、毎月の誕生日レク、行事毎にレク等）を実施。「よかった、楽しかった」と言ってくださるような小規模作りを意識して行っております。



## 広沢拠点③

## 【居宅介護支援事業所ひろさわ】

## 「児童館で認知症サポーター講座を開催」

嵯峨広沢児童館にて、職員6人ほどで20名ほどの小学生の皆さんの前で『歳をとったら忘れる病気を知っていますか?』というタイトルで寸劇を披露しました。

認知症の方々が地域の皆様に見守られながら住み慣れた地域で生活が継続できるよう、小学生の皆さんに認知症について知ってもらうべく、笑いを交えながらの寸劇となりました。

とても真剣なまなざしで寸劇を観覧しつつ、時には声をあげて笑っている小学生の姿をみることができ、こちらも温かい気持ちになりました。





## 宇多野拠点①

【特別養護老人ホームうたの・短期入所生活介護事業うたの】

「南玄関手洗い場・面会スペース設置と北玄関手洗い場の拡充」

これまで南玄関に来客用の手洗い場がなく、セントラルキッチンの小さな手洗い場で対応していました。8月に新たに南玄関に手洗い場を設置、また同時に北エントランスの手洗い場も拡充した。

手洗い場にアルファキュート（消毒装置）を取り付け、電解水による衛生的な手洗いが簡易にできるようになった。

【北玄関エントランス】



【南玄関エントランス】

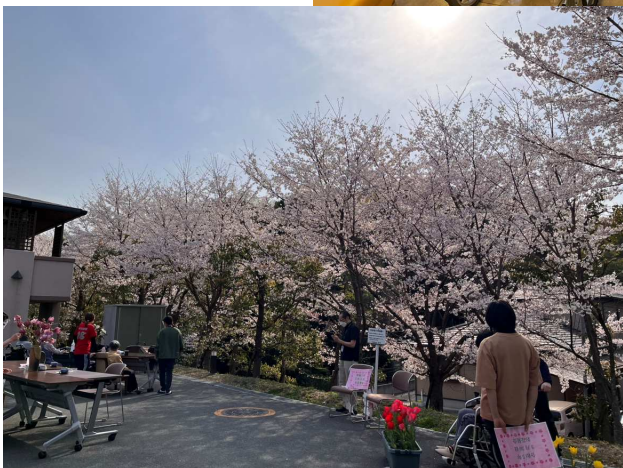




## 宇多野拠点②

## 【特別養護老人ホームうたの・短期入所生活介護事業うたの】

コロナ禍ではありましたが、少しでもご利用者に楽しんでいただける季節の行事を実施しました。12月は御室幼稚園の園児さんらが来所され、手作りのクリスマス飾りをご利用者に手渡していただきました。かわいいサンタさんにご利用者はみな喜ばれました。2月には豆まき、3月には雛飾りと駐車場の桜が満開でお花見をしながら、お饅頭とお抹茶などを楽しんでいただきました。





## 宇多野拠点③

### 【居宅介護支援事業所うたの】

#### 「広報誌「うたの “かわらばん”」の発行」

地域住民との交流・地域情報の収集・介護相談の紹介を目的に、右京区介護予防推進センター主催の介護予防運動教室（第1・3水曜）に参加し、広報誌「うたの “かわらばん”」を配布（隔月）

#### 「インスタグラムの運用開始」

事業所での取組みや、サービスの紹介・役立つ情報提供・日々の何気ない身近なできごと・地域の情報などを発信。福祉に関心のある方やサービス事業所と繋がることで、情報発信による認知の拡大と信頼の獲得、新規相談者からの相談や関係事業所との連携強化を図る。また、地域の情報の発信など、この地域の魅力発信の一翼を担えればと考えております。

**嵐山寮うたの居宅かわらばん**  
 令和4年7月吉日 No. 03(隔月発行) 発行責任者 管理者 丹上海三 社会福祉法人 嵐山寮

6月28日に近畿地方が梅雨明けしました！昨年より19日、平年より21日早いとのことです。毎年紙風船祭が執り行われる頃、ようやく梅雨明けと言ったところですが、なんと早い夏がやってきましたね。今年の紙風船祭は、新型コロナウイルスの感染状況を見ながらも通常の例祭に復帰できるところから執り進められるようです。また、五山の送り火も3年ぶりに全面点灯とのこと。京都の夏の風物詩が復活ですね！夏バテには十分注意して、暑い夏を乗り切りましょう！「嵐山寮うたの居宅かわらばん」を作成いたしました。読んでいただけると幸いです。  
 柴田 裕子

☆ 介護保険についてのお話  
 介護保険サービスの利用には、要介護認定の手続きが必要です。なお、介護予防・生活支援サービスについては、基本チェックリストによる事業対象者登録の手続きでも利用できます。

☆ サービスの利用手続

① 相談・申請  
 お住まいの地域の高齢サポート（地域包括支援センター）または、お住まいの区の区役所・支所の健康長寿推進課高齢介護担当にご相談ください。嵐山寮居宅介護支援事業所うたのでも申請代行を行うことができます。  
 申請に必要な書類は、①要介護認定等申請書 ②介護保険被保険者証 ③医療保険（健保・国保等）の被保険者証（第2号被保険者のみ） ④マイナンバーカード（個人番号カード）または、マイナンバーが正しいことを確認できる書類

② 要介護認定  
 ・訪問調査 調査員が家庭などに訪れ、心身の状態などについてお伺いします。  
 ・かかりつけ医の意見書（介護認定給付事務センターから主治医に依頼します。）  
 ・審査・判定（京都市介護認定審査会）介護を必要とするかどうか、また、どの程度の介護を必要とするかなどについて、保険・医療・福祉の専門家によって、審査・判定を行います。

③ 認定  
 要支援・要介護と認定された方は、介護保険サービスを利用することができます。要支援・要介護状態の区分に応じて利用できるサービス料や利用限度額などが決められています。

④ 居宅介護支援事業所（要介護の方）地域包括支援センター（要支援の方）との契約後、担当ケアマネジャーが、ご本人やご家族の意向を確認しながら、介護保険サービスを調整していきます。  
 ご希望があれば、私たち嵐山寮居宅介護支援事業所うたののケアマネジャーがお手伝いいたします！

ご質問などがございましたら、メモとしてご利用ください。  
 ご持参いただきましたら、ご相談やお答えいたします。

arashiyamakoyotaku プロフィールを編集

投稿10件 フォロワー125人 フォロワー中64人

嵐山寮居宅介護支援事業所うたの  
 私たちケアマネジャーは、介護に関する幅広い知識を持った専門家であり、あなたの介護や生活上のパートナーです。あなたと一緒にあなたらしい幸せづくりを目指し、ケアプランを作成し、介護・保健・医療・福祉サービスを適正にコーディネートいたします。介護のことで困ったら、まずは、お気軽にご相談ください。  
[www.arashiyamaryo.or.jp](http://www.arashiyamaryo.or.jp)

投稿済み タグ付けされている人

## 法人①(人材スキルアップ支援センター)

福祉業界の人材不足は、年々顕著になっており、有効求人倍率において、建設業と同等の3倍を超えました。センターの役割も採用と並行し、定着も併せて重要な喫緊の課題。法人全体での退職率としては全国平均の半値で推移しておりますが、職種別で見ると介護職の退職率は毎年上がっております。

副業兼業希望の方への対応と採用、また、採用活動チーム「RUN」の発足から、それぞれのチームが職員の希望となるよう様々な活動を行っており、就職フェア同行チームや、上位認証若手向上セミナー参加チームなど、他拠点、他法人の交流から自身の気付きへと変わる仕掛けづくりがカギと考えております。

また、採用方法も限定的な求人ではなく、総合職といった募集に変え、あなたのキャリアと一緒にデザインします！という個別性を謳ったフレーズで5年後の自分をイメージさせて法人と共にキャリアパスを体感していただくという方向性に変えております。

今年度は新たな体制で、内に外に足を運び、福祉の魅力、嵐山寮の魅力を発信していきます。





## 法人②(システム管理①)

### 1. 貸出用ノートパソコンの入替え

従来の貸出用ノートパソコンでは、WEBカメラが非搭載でテレワークに対応できていませんでした。入替後は、通常の仮想デスクトップに加え、Zoom等のWEB会議サービスの利用や、リモートVPN(仮想プライベート ネットワーク)を活用した安全なテレワークも行えるようになりました。



### 2. ペーパーレス化の促進(会議資料の削減)

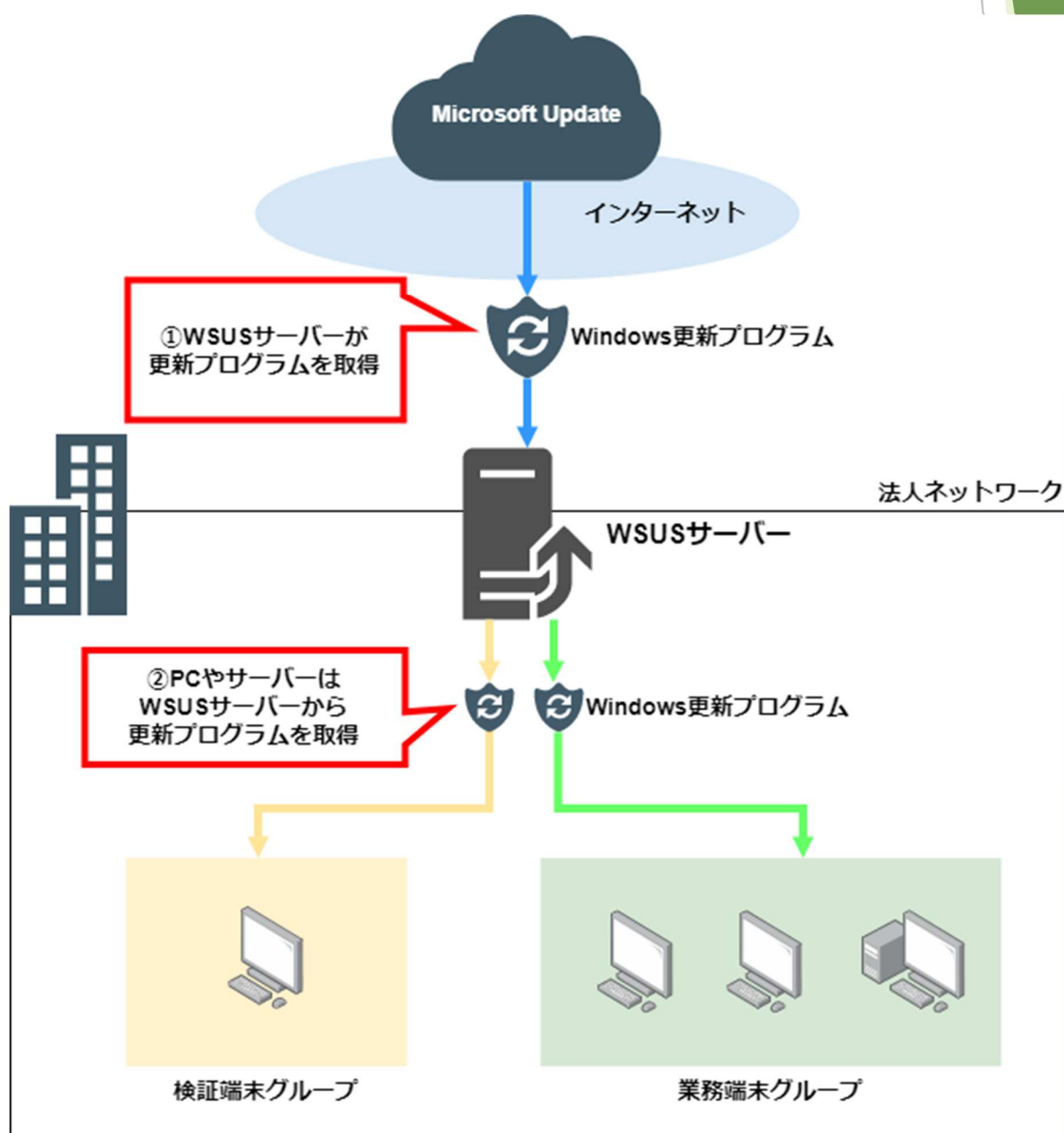
これまでの会議では、紙の資料を印刷して配布していましたが会議の多い管理職を対象に、専用のノートパソコンを新たに貸与して会議の大小を問わずに、可能な限り会議資料のペーパーレス化を行っています。資料の印刷費用はもちろんのこと、会議前の印刷・配布する時間の節約、また紙の資料には紛失や盗難のリスクがあるため、データ化することで、システム上のセキュリティを確保できるようになりました。



## 法人③(システム管理②)

## 3. セキュリティと利便性の両立

法人内のパソコンは、仮想デスクトップ環境(VDI)という技術を使用しクライアント側のOSやデバイスが自由に選択でき、法人内だけでなく外出先や自宅でも、ネットワークに繋がっていれば法人内と同じように業務ができるようになりました(利便性の向上)。しかしながら、そうした利便性からどこで使用されるかわからないため、仮想デスクトップ環境においても、定期的にOSやアプリケーションが最新状態であるか把握しておく必要があり、法人内に、Windowsのセキュリティ更新プログラムを管理するサーバーを構築し検証してから更新プログラムを素早く適用できる環境を整備しました。





# ☆地域公益活動

CSR活動

## “地域交流スペース”の開放



嵐山拠点「地域ふれあいホール」



嵐山拠点「くるまみちカフェ」



嵯峨野拠点「ハッピーサロン」

コロナ禍により中止



広沢拠点「そわか」



宇多野拠点「地域交流ホール」

### ◆◆コメント◆◆

各拠点には敷地内に地域交流スペースがあり、イベント時の解放や地域の方が利用できる場所となっています。リピーターも居られ、地域に開かれた施設を目指す当法人にとっては大変喜ばしい事です。定期的なカフェ、介護予防教室、グループの集まり、また町内会開催場所として定期的にご利用いただいております。

## 地域交流等カフェ開催



宇多野拠点「家族会主催ふれあい喫茶」



広沢拠点「喫茶そわか」



嵯峨野拠点  
「地域開放カフェ 虹色クローバー」

感染状況を見ながら一部再開

### ◆◆コメント◆◆

地域交流等を目的としたカフェを各拠点にて開催。嵐山拠点「くるまみちカフェ（毎月不定期）」、広沢拠点「カフェそわか（毎週月・金曜）」、嵯峨野拠点「虹色クローバーカフェ（第1・3木曜）」宇多野拠点「家族会主催ふれあい喫茶（毎月第2日曜）」を定期的で開催。またご利用者向けに施設内で居酒屋も開催しています。

# 財務情報

事業活動計算書 前年決算比較

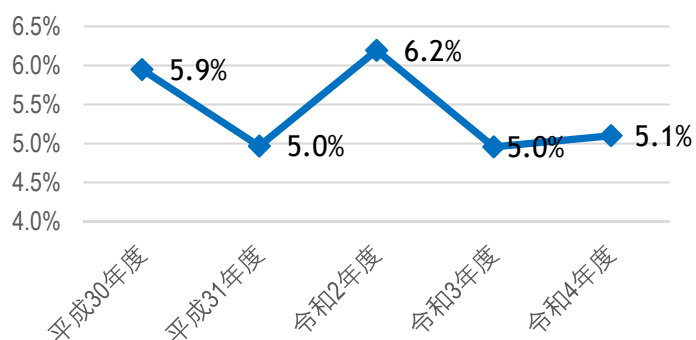
単位：千円

勘定科目	令和4年度末	令和3年度末	前年比
<b>サービス活動収益</b>	<b>1,860,477</b>	<b>1,865,505</b>	<b>99.7%</b>
サービス活動費用	1,775,877	1,778,874	99.8%
人件費	1,283,318	1,281,854	100.1%
事業費	253,828	236,631	107.3%
事務費	155,611	177,081	87.9%
サービス活動増減差額	84,600	86,631	97.5%
サービス活動外増減差額	10,401	5,834	178.3%
<b>経常増減差額</b>	<b>95,002</b>	<b>92,464</b>	<b>102.6%</b>
特別増減差額	▲377	▲37	1016.3%
<b>当期活動増減差額</b>	<b>94,625</b>	<b>92,427</b>	<b>102.3%</b>
<b>積立金積立額</b>	<b>73,000</b>	<b>90,000</b>	<b>81.1%</b>

サービス活動収益(法人)



経常増減差額比率(法人)



貸借対照表 前年決算比較

単位：千円

勘定科目	令和4年度末	令和3年度末	前年比	勘定科目	令和4年度末	令和3年度末	前年比
流動資産	737,277	731,291	100.8%	流動負債	281,410	289,160	97.3%
(うち現金預金)	373,616	353,695	105.6%	固定負債	552,743	611,746	90.4%
固定資産	2,445,012	2,451,216	99.7%	(うち設備資金借入金)	502,608	543,360	92.5%
基本財産	1,297,479	1,352,992	95.9%	<b>負債合計</b>	<b>834,153</b>	<b>900,906</b>	<b>92.6%</b>
その他の固定資産	1,147,533	1,098,223	104.5%	基本金	461,990	461,990	100.0%
				国庫補助金等特別積立金	326,872	355,599	91.9%
				その他の積立金	840,637	830,000	101.3%
				次期繰越活動増減差額	718,637	634,012	113.3%
				(うち当期活動増減差額)	94,625	92,427	102.4%
				<b>純資産合計</b>	<b>2,348,136</b>	<b>2,281,601</b>	<b>102.9%</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,182,289</b>	<b>3,182,507</b>	<b>100.0%</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>3,182,289</b>	<b>3,182,507</b>	<b>100.0%</b>



# 事業別概要(別冊参照)

職員の配置状況	P1	施設サービスの概要	P11
養護・特養の利用状況	P2	実施した主な事業	P14
1.指定介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)		短期入所生活介護事業利用状況	P15
2.特定施設入居者生活介護(養護老人ホーム)	P5	デイサービスセンター利用状況	P16
3.養護・特養利用者の状況		ホームヘルプサービス利用状況	P18
(1) 年齢、性別の状況		居宅介護支援事業所利用状況	P19
(2) 入退所及び入退院状況	P6	京都市嵐山地域包括支援センター利用状況	P20
(3) 入浴の実施状況	P8	小規模多機能施設利用状況	P21
(4) おむつの交換状況		サービス付高齢者向け住宅利用状況	P23
(5) クラブ活動の状況	P9		
(6) 入所期間別状況			
(7) 病名別入院者	P10		
(8) 入院日数・人数			
(9) リハビリテーションの実施状況			
(10) 死亡原因	P11		
(11) 月別面会状況			
(12) 栄養状況の推移			

## 法人・事業所



代表連絡先	075-871-0032
FAX	075-861-9157
・養護老人ホーム嵐山寮・特別養護老人ホーム嵐山寮・嵐山寮短期入所生活介護事業・嵐山寮デイサービスセンター・嵐山寮ホームヘルプサービス・嵐山寮居宅介護支援事業	



代表連絡先	075-871-0085
FAX	075-865-0102
・嵐山寮小規模多機能施設さかの・高齢サポート嵐山(京都市嵐山地域包括支援センター・京都市委託)	



代表連絡先	075-871-3030
FAX	075-871-3200
嵐山寮特別養護老人ホームひろさわ・嵐山寮短期入所生活介護事業ひろさわ・嵐山寮小規模多機能施設ひろさわ・嵐山寮居宅介護支援事業ひろさわ・サービス付き高齢者向け住宅広沢ヒルズ	



代表連絡先	075-366-3601
FAX	075-366-3602
嵐山寮特別養護老人ホームうたの・嵐山寮短期入所生活介護事業うたの・嵐山寮居宅介護支援事業うたの・社会福祉法人嵐山寮うたの診療所	